



湘南わかばグループ健康ニュース No.235 2020年9・10月号

わかば

特定医療法人 湘南中央病院・湘南わかば苑・わかば訪問看護ステーション
社団若林会 若林会居宅介護支援事業所・藤沢市明治いきいきサポートセンター
(地域包括支援センター)

発行者／長田博昭 編集責任者／呉鐵仁
〒251-0056 藤沢市羽鳥1-3-43 Tel0466(36)8151 Fax0466(35)2886
URL <https://www.swg.or.jp> E-mail wakaba@swg.or.jp

【理 念】

地域の人々とともに歩み
健康を守り良質な医療と介護を
提供します。

【基本方針】

いつでも受けられる医療と介護
地域に出る医療と介護
包括的な医療と介護
納得づくりの医療と介護



「ときのわすれもの」～住むまちの風景～

タイトル『大庭トンネル』



藤沢市は、相模野台地を境に南部と北部の地域に、大きく分かれています。大庭トンネルは、その南部と北部を結ぶ446mの長いトンネル、1986年に開通しました。

湘南ライフタウンは、1971年に開始された黒川紀章設計の「西部土地区画整理事業」、3万人を越す大きな町になりました。大庭トンネル開通まで、辻堂駅からのバス路線は、羽鳥から宗賢院の前を通り丹地蔵脇を左折、というコースでしたが、大庭トンネル開通後は一直線、とても近くなりました。

(作者 佐々木薫／企画 宮原青子)

主 な 記 事

医学「当院で行われている回復期リハビリテーションについて」	回復期リハビリテーション病棟 リハビリ科医師 馬 淵 一 樹 (2)
新任医師紹介	宮 部 千 恵 (4)
お知らせ 湘南大庭／西部団地・駒寄団地エリアに無料循環バスを運行します	(4)
お知らせ ペットボトルキャップリサイクル活動のお知らせ	(4)
一代記 或る外科医の一代記「高等学校の頃③」	理事長 長 田 博 昭 (5)
エッセイ「オカズっ喰い」	宮 原 昭 夫 (6)
地域「東海道を旅する人々」	藤澤浮世絵館 細 井 守 (7)
こえ 投書箱から	統括事務部長 伊 藤 稔 (7)

当院で行われている 回復期リハビリテーションについて



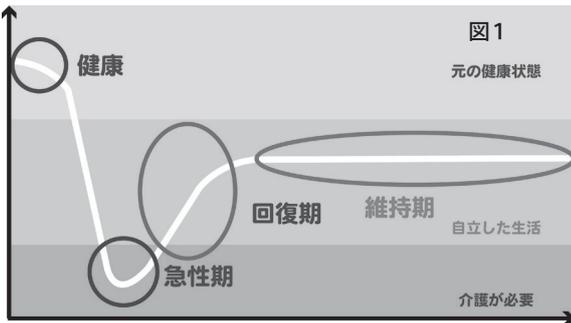
回復期リハビリテーション病棟 リハビリ科医師 馬淵 一樹

はじめに

当院が回復期リハビリテーション病棟を開棟し、約15年という年月の中で、多くの近隣地域の患者さんに利用いただき、現在に至っています。今回、我々が日々行っている回復期リハビリテーションの内容についてお話しします。

回復期リハビリテーション（以下、回復期リハ）とは、治療を優先して行われる急性期を脱した後の「回復期」という時期に行われるリハビリテーションになります。その後に、維持期（生活期）に移行します。（図1）

急性期・回復期・維持期（生活期）の身体レベルの変化



理学療法士（PT）は、寝返り・起き上がり・立ち上がり・歩くなどの基本動作の回復・維持を図ります。

医療スタッフ各職種

回復期リハ病棟の対象疾患である様々な脳疾患、大腿骨骨折・人工関節・義肢装具・頸髄損傷などの整形外科の患者さん方、および心臓・肺・大動脈疾患後の廃用症候群の患者さん方に対して、なるべく良い身体状態に回復できるように、毎日対応しています。

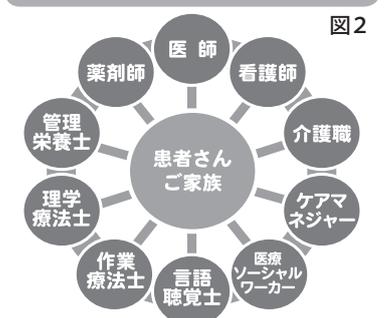
回復期リハの入院の流れは、近隣の急性期病院での疾患および外傷の急性期の治療（一部リハビリも含む）が行われ、病状が安定したら、当院を希望していただき、紹介状を介しての入院となります。入院後は、元の身体機能へ戻れるように、最大限の努力を發揮してもらい、最終的に安定した身体状態・生活レベルへと到達していきます。私たち医療スタッフは、日々リハビリ入院の生活をサポートし、適宜状態を評価した上で、訓練を強化したり、量を調整させてもらいます。

次に示す（図2）・写真で、患者さん・家族を取り巻く医療スタッフの関係、当院のリハビリテーションの流れ（図3）、実際の様子を示します。

作業療法士（OT）は、着替え・入浴・料理・仕事・作業などの応用的動作など細かい機能の回復・維持を図ります。
言語聴覚士（ST）は、聞く・話す、読み・書き・飲み込み（嚥下）、思考（高次脳）に関わる身体活動の回復・維持を図ります。
看護師は、日常生活の活動を全般的に支援し、日頃の心のケアもします。
介護福祉士は、入浴・排泄などの生活全般の直接的な介助に関わります。
医療ソーシャルワーカーは、患者さん・家族と医療スタッフの連携をし、社会福祉サービスや各種サービスの紹介、施設の紹介をします。
管理栄養士は、患者さん個々で異なる栄養バランスの食事を提供します。

薬剤師は、医師と相談し処方薬を適切に調剤し、患者さんの薬物療法のサポートをします。
次に示す（図2）・写真で、患者さん・家族を取り巻く医療スタッフの関係、当院のリハビリテーションの流れ（図3）、実際の様子を示します。

家族を取り巻く医療スタッフの関係



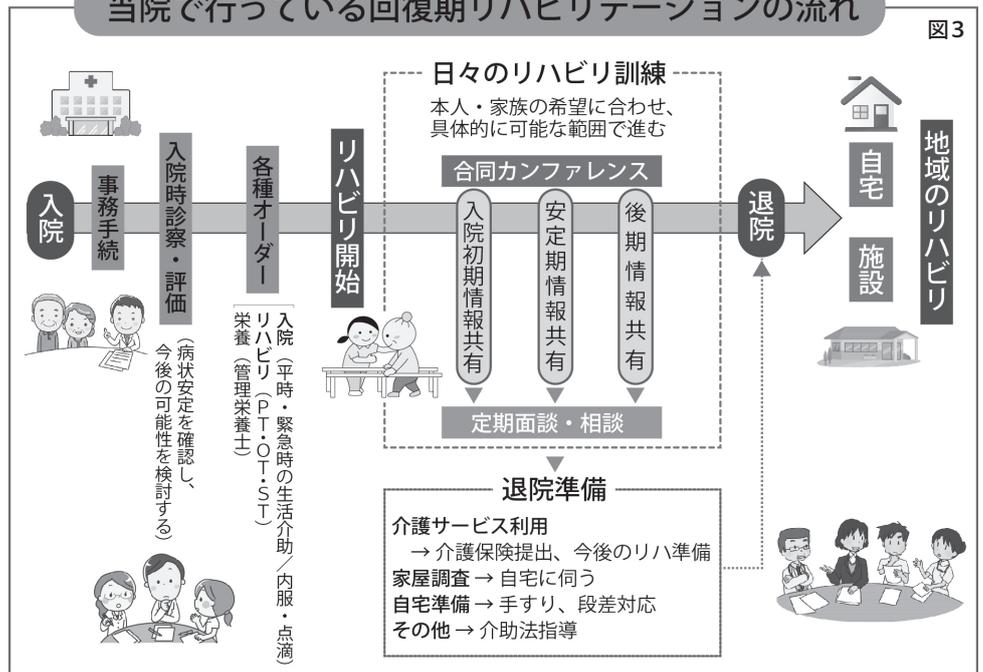
リハビリに携わる医療スタッフ



合同カンファレンスの様子

当院で行っている回復期リハビリテーションの流れ

図3



患者さん、リハビリ入院を希望する地域の方々へ

1〜6ヶ月の比較的長い回復期リハビリの中で、満足のいく身体能力と生活レベルを得られた患者さんもあります。十分に

満足なレベルを獲得できない患者さんもあります。その要因は色々と考えられます。医療の進歩や現疾患の重症化、既往疾患の影響などがあり、個人差も大きい事は確かです。私たちはチームとして、年齢・性別、既往疾患（心肺・腎疾患



脳／整形疾患、癌関係など）、生活歴・自宅環境・家族サポート状況を把握し、日々変化する疾患・生活レベルを確認しながら、リハビリ訓練（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）と生活介助を提供しています。必要に応じて、自宅退院に向けて家屋調査を行ないます。現代医療の疾患多様化とその治療対応の難しさはありますが、最大限対応しようと日々準備をしています。昨今、高齢化はありますが、患者さんの可能な限界点を見出し、残った能力を引き出す事がリハビリの役割になるため、医療スタッフでそれを引き出せるようにサポートします。

入院という集団生活の形となるので、生活の自由度が低下する事は御理解いただきたいところです。例えば、塩分・間食、売店、面会外出・外泊、他院受診、自由に移動できない等の不自由さはあると思います。さらに新型コロナウイルス感染症のリスクは、リハビリ入院という集団生活の中で、患者さん・ご家族に不便を与える事は確かですが、何とか日々の入院リハビリに集中していただければと思います。

退院後は、体調維持に努めてもらい、地域の訪問リハビリ、通所リハビリ、一部で通院リハビリをして在宅（施設）での生活レベルを維持していきます。必要に応じて、介護度に合わせて介護サービスの利用となります。仕事などの社会復帰に関しては、入院中から相談し、退院後にリハビリ科外来で慎重に進めていきます。

おわりに

現在は、飛松治基医師と2名体制で行っております。医療チームのリーダーとして、良いコミュニケーション・チームワーク・機動力で、患者さん方々

を支えたいと思っています。入院中の緊急事態には、脳卒中再発、転倒、発熱、心肺疾患などもありえますが、冷静に対応できるよう、日々注意しています。

また、私は3年前まで急性期治療中心の脳神経外科医でした。その経験から脳卒中や頭部手術後の患者さんや、水頭症・髄液シヤントの患者さんを得意としています。髄液シヤント症例の入院の臨床経験から、2020年8月開催のリハビリ医学学会総会（京都）で、『当院回復期リハビリテーション病棟で経験した髄液シヤントの水頭症7例の検討』として学会発表をしました。この場を借りて発表の同意をいただいた患者さんとご家族にお礼を申し上げます。

「リハビリテーション」が日常的な概念になり、当院の回復期リハに焦点を当て、今回お話しをしました。

これからも地域のみなさんに、外来・入院で疾患・外傷等の治療を行わせていただき、リハビリ・チームは生活レベルを改善・維持するための一助になりたいと願い、日々努力を続けます。これからも宜しくお願いたします。

新任医師紹介／お知らせ

新任医師紹介



皮膚科 ちえ 千恵
みやべ ちえ
宮部 千恵

この度、湘南中央病院にて非常勤で皮膚科外来を担当させていただくことになりました、宮部千恵と申します。

私は、平成16年に秋田大学を卒業後、大学病院、一般病院等で勤務し、これまで膠原病や血管炎に特に興味を持って診療・研究を行って参りました。現在も大学で専門外来を行いつつ、当院にお世話になっております。

皮膚科は非常に対象とする範囲の広い診療科で、老若男女問わず、感染症、アレルギー、自己免疫性疾患、角化症、腫瘍まで皮膚に症状を呈する疾患全てを診察致します。これまで他の病院で治療されていた方は、お薬手帳などご持参いただければスムーズかと存じます。

週1回の外来ですので、入院や手術などは対応が難しい場合もあるかと思いますが、皆様に最善の治療を提供できるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

湘南大庭 / 西部団地・駒寄団地エリアに無料循環バスを運行します

11月運行予定

現在、辻堂駅～湘南中央病院間で無料送迎バスを運行しておりますが、以前より「大庭地域にも送迎バスを走らせて欲しい」とお声をいただいております。



この度、「湘南大庭／西部団地・駒寄団地エリア」に無料循環バスを運行することになりました。運行開始は、11月を予定しております。現在、開始日、ルート及び運行予定表等の調整を行っております。決まり次第、当院ホームページ及び院内、健康ニュース「わかば 11・12月号」でお知らせいたしますのでご確認ください。

ペットボトルキャップリサイクル活動のお知らせ

ペットボトルキャップを集めて
世界の子供たちを
救おう！

ペットボトルキャップ ⇒ ワクチン(ポリオ)

約500個 1人分

全額募金がわれわれの
プライドです

NPO法人
Reライフスタイル

※当団地には定数があります。
詳しくはホームページをご覧ください。
www.re-lifestyle.com

当院は、ペットボトルキャップのリサイクルに協力しております。集まりましたペットボトルキャップは、「NPO 法人 Re ライフスタイル」が定期回収を行っております。

各地で集められたペットボトルキャップは、樹脂メーカーに引き取られ、その対価が「認定 NPO 法人 世界の子供にワクチンを日本委員会 (JCV)」を通じて世界の子供たちにワクチンが届けられます。

回収 BOX は、当院1階のエレベーターホール前の自動販売機前に設置しております(写真参照)。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



私たちは
ペットボトルキャップの
リサイクルに協力しています
NPO法人REライフスタイル認定

提供：NPO 法人 Re ライフスタイル
<http://www.re-lifestyle.com/>

高等学校が新設校であったので運動部も未成熟であったが、剣道部に入った。といっても初段の先輩がいる程度で少人数である。道場等と言う稽古場もなく、運動場や屋上を使って練習した。地下足袋の様なものを履かないと足の皮がすぐやられるので苦労した。父が戦前大学剣道で四段であり、御前試合にも出た事があった人なので、面・胴・小手の防具一式の購入はすぐに許可された。右翼の大物が書いた剣道の入門書を読みながら「独習」もした。上段の構えとか陰の構えなど、竹刀を以って懸命に練習した。3年生になってからだとは思いますが、進級試験を受けに行った事があった。初段の判定試合で、相手に一本胴をとったのに不合格になった。構えが悪いからだと言明された。我流で或るところ迄は行く私の限界を悟る一幕ではあった。

高等学校で教わった一番重要な事は酒の飲み方であった。実はそれより先に自宅で既にビールを飲むようにはなっていた。それには事情があった。父は若い頃、飲める方であったそうだが戦地から引き揚げて来てからなぜかアレルギー的な反応のため酒を控えるに至っていた。ところが当時、医師への御礼として患者さんたちから贈られる品はビールかカステラなどが多かった。大阪大学病院に勤務していた父は住まいの近くの人々の親身

一代記

或る外科医の一代記 高等学校の頃③

理事長 長田 博昭

の良い相談相手になっていた。ある日親父が「わしは飲まれへんけど（飲めないが）、到来物のビールが溜まってるやろ。お前飲んでくれへんか（くれないか）？」と言った。確か夏の暑い日であった。冷えたキリンビールをゴクッと飲んで、こんな旨い飲み物があるのかと嬉しくなった。そんな訳でビールには慣れていた。その上、父がウィスキーベースの「カクテル」マンハッタン“を作ってくれた。後年国内や海外での学会で、ホテルに泊まるとの夜更けに私が屢独りバーへ行って “Make Manhattan to me, please.” などと言ってそっと味わいながら59歳で逝った父を偲ぶ所以である。

さて話を学校での事に戻そう。2年生頃のある日の帰りがけ、元海軍士官のY学年主任に言われた。「長田、今晚儂が宿直じゃ。出直して学校に来い。」と。宿直室に出向くと枕元に日本酒の一升瓶と茶碗半ダースほどが伏せてあった。主任教官は茶碗を一つ上に向け、酒を注ぐと「飲め」といった。私はごくごく飲んだ、初めての日本酒であった。「いけるな！」と言われた。それから数か月して、「長田、今晚儂の家に来い」行くと、上級生も一人来ていて既に飲んでいた。主任はウィスキーグラスにト

リスの角瓶（注：当時のウィスキーの定番）からなみなみと注いで、「飲め！」である。飲んだが、ビールと同じように。又一杯。ふと酔いを感じた。その時Y主任が言った、「これから飲みに行くぞ！」主任は自転車を手押し、私が従った。

大阪の下町の極みは「釜ヶ崎」である。立ち飲み屋が軒を連ねていた。とある一軒の店先で、手渡しのコップ酒を飲みながら串カツをあてにした。「二度浸け禁止」なんて張り紙は無かったなあ。2～3杯の後「そろそろ帰るか」で帰路。分かれ道で先生に「お前大丈夫か？」と聞かれ「はい！」と答えて別れたまでは良かったが、家に近づく頃、道路の両側の電柱が湾曲して見え、母が勝手口を開けてくれた瞬間、意識を失った。気が付くと翌日の午前11時頃、母が「学校に電話して休みますとお話ししといたよ。」と。

翌日登校したら、廊下でS学級担任に呼び止められた。直立不動で「来るなッ」と覚悟した。「長田、お前は昨日二日酔いで休んだだろう！」と来た。「はいッ！」と答えたあとのS先生の一言に、しかし、痺れた。「これからはな、二日酔いでも学校を休むんじゃない！」S先生は海軍兵学校上級生徒で終戦を迎えた人であった。とまれこの学校は、近年は山中教授の様なノーベル賞学者も輩出している。身共は不肖の先輩ではあるなあ。

「オカズっ喰い」

先日、食事をしている最中に、ふと「おまえはオカズっ喰いだ」と祖母によく叱られた幼時の記憶が蘇りました。私が、ご飯をあまり食べずにオカズばかり食べるのがお行儀が悪いと言われたのです。

現在は、食事は一日三十種類の食材を摂取すべし、とか言われるように、食事のバラエティが重視され、お母さんたちは、幼い我が子にオカズを食べさせるのに腐心しておられるようです。でも昔は、梅干し一個で一升飯を喰ったという自慢話が通用するほど、食事はあくまでもご飯であり、オカズは、まさに「不急不要な」贅沢品でした。

ご存じのように、西洋料理のフルコースなんかは、それこそ続々登場するオカズの合間に、ちょっとパンをひと千切り、口に入れる、といった程度ですね。生前の祖母に是非一度あれを食させてみたかった。

幼い頃よく聞かされた「美談」として、当時偉人とされていた西郷隆盛が食事した後、同じ吸い物を家人が口に入れたら白湯だったので、驚いて調べてみたら、下女が食塩を入れ忘れたのが判明したという逸話がありました。味のない吸い物を平然と飲み干して文句も言わなかったのは、さすが大物だ、男一匹、かくあるべきだ、オカズが美味しい不味いなどと、いちいち云々するようじゃ男の風上にも置けぬ、というのが、当時の「男の美学」だったのです。当今のグルメ人種に聞かせたら袋だたきに遭いそうな話です。

話は変わりますが、TVの居酒屋探訪番組で、レポーターの著

話の道草



宮原 昭夫



名なライターが、お酒のツマミを、箸の下に掌をあてがう、いわゆる「お手皿」で口に運ぶのを、しょっちゅう画面で目にする度に、私はダメダメダメダメと心で叫びます。何がダメかと言えば、小笠原流に反する、という意味です。まったく余計なお世話ですが、気になるのだから仕方ありません。小笠原流とは、ご存じのように日本の伝統的礼式で、その中には和食のマナーもあります。小笠原流では、零れやすい物を食べるには、お手皿ではなく、器ごと口元まで運んで、箸で口に入れるのがマナーなのです。

小笠原流では、食事はよろず器を手を持って食べるのが正式で、だから日本の食器は概ね余り大きくなく、重くもないのだそうです。それは日本にはサジが無かったからだとのこと。つまり、食器がサジを兼ねていたのです。サジとは、言うまでもなく「取っ手がついている小さな器」で、原理的にはコップもサジの一種ですね。でも日本の食器には取っ手がないじゃないか、と私は思いましたが、ところがあるのだそうです。それはお茶碗やお皿の下に付いている「糸底」です。

西洋や中国の食器には糸底がありません。持ち上げないからです。日本以外の国では、食器を持ち上げて食べるのはお行儀が悪いとされているようです。それにつけても思い出すのは、お茶碗を食卓に置いたままご飯を食べて「犬食いするな！」と

どやされた幼時の記憶です。食のマナーは、どうやら日本と外国では正反対のようですね。

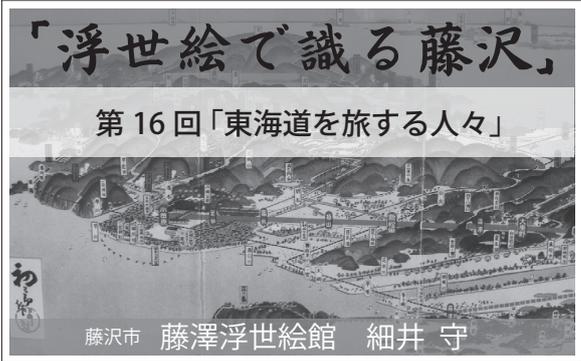
ところで、小笠原流というのは本来は弓道の指南書なんだ、と聞かされた時には、私は狐に抓まれた思いがしたものでした。なんで弓矢の飛ばし方のノウハウが物の食べ方にまで干渉してくるんだ、という不審ですが、きっと、お茶を飲むのにまで作法が重んじられるような日本的な哲学の一環なんでしょうね。

ここでちょっと横町の隠居風のウンチクを垂れますが、全人類のうち、概ね三分の一は手づかみで、三分の一はナイフとフォークで、残りの三分の一が箸で、物を食べるのだそうです。そして、箸だけで食べるのが日本、箸がメインでサジがサブなのが中国、サジがメインで箸がサブなのが朝鮮半島、というのが大体の分布のようです。

ここで更に問題が発生します。私がかよなく愛するラーメンです。ラーメンは中華か和食か？

私はてっきり中華料理の一種だと思っていたら、あれは中華のスープ麺の伝統からは、どうやら外れているようで、茹で麺とタレとダン汁の三種を、食べる直前に合わせる手法は、日本独特のものらしい。

……そこで私はラーメンを前にして、いつも悩むのです。果たしてラーメンのスープは散り蓮華（中国風のサジ）で飲むべきか、それとも器を持って吸うべきか？ と。



藤沢市 藤澤浮世絵館 細井 守



図1. 五十三次細見図会 藤沢



図2. 人物東海道 藤川

暑い夏が過ぎて、行楽の季節を迎えますが、今年は、遠方への旅は難しいようです。徒歩で旅するのが基本だった江戸時代の人々は、とにかくよく歩いて、江戸周辺から伊勢神宮（三重県）までは、おおよそ十五泊程度の行程であったようです。当時、個人が旅行をする

るのは難しくかつたように感じますが、実は当時の日記などを読むと、驚くほど多くの人が街道を行き来していたことが知られます。その多くは、寺社等への巡礼や宗教的目的から諸国を巡る宗教者でした。

また作品の遠景（上部）には、藤沢宿を中心に江のしま、七面山（しちめんさん）（＝片瀬龍口寺）、遊行寺、弁天鳥居（現在の藤沢橋辺）、四ッ谷追分（おいわけ）、なんご（南湖）の浦（左富士）などの名所が描かれ、この絵は旅の案内図の役目も果たしていたようです。

図1の歌川広重「東海道五十三次細見図会 藤沢」は、そうした徒歩で旅する人々を描いた、当時を彷彿とさせる作品です。弘化期（一八四五～一八四八）頃に制作されたシリーズ作品です。日本橋から小田原まで各宿を背景にした十図が確認されていますが、全五十五枚が完成したかどうかは判っていません。

図2も街道を旅する人々を描いた作品。同じく歌川広重の作品で、東海道の各宿の風景を、そこに働く人や通行する人などを、人物を中心に描いているため「人物東海道」と呼ばれています。「五十三次」シリーズは、制作時期嘉永四～五年（一八五二～五三）の二枚、「藤

川」（愛知県岡崎市）です。右上の障子に「木ちん宿」と書かれています。木賃宿とは、客が自炊をする安価な宿のことで、自炊のための薪代（木賃）を支払って泊まりました。ここにも、さきほど藤沢の辺りで休んでいたのと同じような、巡礼や宗教者の人々が集まっています。手前の天狗の面を背負った人は金毘羅参り。藤沢の絵で左端にあった箱の中身は、これだったので。江戸の旅の一面が見られます。

した法華経を諸国に納経する回國巡礼僧、「順礼（巡礼）」の家族？、「修業者」、「金毘羅参り」などの人々が道の傍らの草原で休憩する姿をユーモラスに描いています。

◆アクセス◆

藤沢市 藤澤浮世絵館
FUJISAWA UKIYO-E MUSEUM

開館時間 10:00～19:00
休館日 月曜日
※月曜日が祝日の場合は翌平日が休館
年末年始 (12月29日～1月3日)
※その他、展示換えの為の休館日あり

TEL: 0466-33-0111
藤沢市辻堂神台2-2-2ココテラス湘南7階

入館料無料

投書箱から

ATMの設置につきまして、以前、いくつかの金融機関に相談しましたが、当院の外来患者数・入院患者数では難しいという事で設置は実現しませんでした。

ご不便をおかけいたしますがご理解くださいます様お願いいたします。

また、売店でのキャッシュレス化については、運営している業者さんに相談してまいりたいと思います。

貴重なご意見ありがとうございます。

統括事務部長 伊藤 稔

●患者さんよりご意見をいただきました。

「急病で入院しましたが、スタッフの対応は概ね良いと思います。ただ、病院内にATMが無く、売店は現金のみでしか支払いができないなど、銀行から引き出す前に入院が決まったので大変困りました。」とのご意見です。

お知らせ

◆ 9月の外来診療担当表 ◆

専門外来

一般外来

2020.9.1 現在

	午前 午後	月	火	水	木	金	土		午前 午後	月	火	水	木	金	土	
内分泌 (糖尿病)	午前 午後		酒井 (午前) 予約		酒井 (午前) 予約		酒井 (午前) 予約 (第3.4)	内科	午前	村川 一般	岡田 一般 循環器	新城 一般	岡 一般 神経内科	村川 一般	岡 第1・3・5 新城 第2・4	
呼吸器 内科	午前	福崎 予約					岡 一般 神経内科			岡 一般 神経内科	岡田 一般 循環器	永渕 一般	永渕 一般	永渕 第1・3・5 岡田 第2・4		
肛門外科	午後	松崎					小川 一般 循環器			-	-	相澤 (予約)	相澤 (予約)	相澤 第2 (予約)		
胸部 化学療法 外来	午前		長田 予約				奥脇(裕) 一般 消化器		永渕 一般	-	新城 一般	小川 一般 循環器	-			
乳 腺 甲 状	午前			宮下 予約 診察は9月迄			岡田 一般 循環器		-	-	-	相澤 第1・3・4・5 (予約)	-			
皮膚科	午前 午後			露木 (午前) 診察は9月迄		宮部			外科	午前	呉	池田(清)	呉	(輪番制)	松崎	松崎
心 療 内 科	午前				三吉 予約		午後				松崎 一般・肛門	-	-	呉	池田(清)	
神 経 内 科	午前 午後					松川 予約	整形外科			午前	横山		横山			
リハ ビリ科	午後	馬渕 予約									池田(全) 一部予約	庭山	池田(全) 一部予約	芹ヶ野	中島	芹ヶ野
リウマ チ科	午前						今井		今井	山本	今井	宇都	宇都			
緩和 ケア 内科	午前 午後	福崎 予約 (午前)		片町 予約 (午後)		片町 予約 (午後)		午後	芹ヶ野	庭山	-	池田(全) 一部予約	今井	-		
禁 煙 外 来	午後	長田 予約	長田 予約		長田 予約	長田 予約	長田 予約 (午前)	泌尿 器科	午前	多田	多田	多田	多田	多田	多田 (安井)	
								午後	-	多田	-	-	-	-	-	
								夕方 診療	午後	-	呉 4:30~7:00	-	-	-	-	

**外来診療
受付時間** 午前 8:30 ~ 11:30
※再診受付 午前 8:00 ~
午後 2:30 ~ 4:30

休 診 水曜午後、土曜午後、日曜日・祝日

※医師の都合等により休診・代診となる場合がありますので、事前にお問い合わせ下さい。

ご来院の皆さまへ (検温のお願い)

当院では院内感染防止のため、来院患者さんならびにお付き添いの方なども含めたご来院の皆様全員に、入り口で検温を実施させていただくこととなりました。

37.5℃以上の発熱や咳などの症状がある方は、事前に職員までお申し出ください。

厳しい暑さの中、新型コロナウイルス感染症予防策として、マスクの着用や室内の定期的な換気など、さらに暑さが増す事象となっております。

今年の夏(7月1日~10月28日)に関東甲信地方において《熱中症警戒アラート(試行)》が実施されました。環境省・気象庁が新たに提供する、暑さへの「気づき」を呼びかけるための情報で、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に発表し、国民の熱中症予防行動を効果的に促す、とのこと。

都県内のどこかの地点で暑さ指数(WBGT)が33℃以上になると予報した場合に発表するそうです。暑さ指数(WBGT)とは、気温・湿度・輻射熱の3つを取り入れた暑さの厳しさを示す指標です。

まだまだ残暑が続きます。熱中症警戒アラートなど、情報を活用し、withコロナの夏を乗り切りましょう。

(血液透析センター 看護師 柳 貴美)

編/集/後/記

湘南中央病院 今月のギャラリー (2020年9~10月)

北 英明 水彩画展



地元湘南や横浜の風景をポスターカラーという画材で描いています。湘南に在住の方でしたら、どこか見覚えのある、なじみ深い風景ばかりだと思います。江ノ島を中心に常に展示活動しています。2度目の展示になりますがご覧いただければ幸いです。

連絡先 北 英明
ホームページ <http://kitahideaki.com/>
メールアドレス shonan211@me.com